

エコアクション 21

環境経営レポート



2019 年 11 月 20 日 発行
(対象期間:2018 年 7 月～2019 年 6 月)

 土佐ガス株式会社

目 次

1. 組織の概要	3
2. 対象範囲	4
2-1.対象範囲	4
2-2.レポートの対象期間	4
2-3.環境経営レポートの発行日	4
2-4.作成責任者	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境管理組織体制	6
5. 環境経営目標	8
5-1.単年度目標	8
5-2.中長期目標	9
6. 環境経営計画	10
7. 環境経営目標の実績	12
7-1.本年度の実績	12
7-2.過去の実績	13
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	15
9. 次年度の環境経営計画の取組内容	17
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	19
11.代表者による全体の評価と見直しの結果	21

発 行 日 ： 2019 年 11 月 20 日

発行責任者 ： 環境管理責任者 久保 雅寛

次回発行予定 ： 2020 年 11 月頃

1. 組織の概要

【事業所名】 土佐ガス株式会社
 【代表者】 代表取締役 宮坂 幸雄

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 取締役部長 久保 雅寛
 環境管理担当者 ショムチーム 岡林 滋朗
 連絡先 TEL:088-882-3165
 FAX:088-884-9270
 E-mail:m_kubo@tosagas.co.jp

【事業活動】 LP ガス事業、上下水道工事事業、電気設備工事事業
 福祉用具貸与及び福祉用具販売事業、住宅改修事業

【事業規模】

設立年月日 昭和 38 年 10 月 16 日
 資本金 5千万円
 売上高・従業員数・延べ床面積

	売上高	従業員数	延べ床面積
2017 年 6 月	1,892.9 百万円	114 人	6,035.3 m ²
2018 年 6 月	1,993.8 百万円	111 人	6,035.3 m ²
2019 年 6 月	1,957.6 百万円	118 人	6,035.3 m ²

会計年度 2018 年 7 月 ～ 2019 年 6 月

事業所	所在地	従業員数	事務所の敷地面積	事務所の延べ床面積
本社	〒781-8121 高知市葛島2丁目3番75号	8 人	1575.9 m ²	2,102.8 m ²
横浜ガスセンター	〒781-0240 高知市横浜 721	60 人	2,914.4 m ²	1,654.9 m ²
佐川営業所	〒789-1202 高岡郡佐川町乙 1902 番地 6	10 人	1345.4 m ²	821.9 m ²
幡多支店	〒787-0010 四万十市古津賀1丁目 139 番地	7 人	755.5 m ²	577.1 m ²
あいこ	〒780-8077 高知市朝倉西町 1 丁目 10 番地 16	24 人	884.1 m ²	786.7 m ²
北萩町オート ガススタンド	〒780-8006 高知市萩町 1-7-27	3 人	892.1 m ²	21.3 m ²
窪川工場	〒786-0008 高岡郡四万十町榊山町 10-20	2 人	660.5 m ²	30.2 m ²
清水工場	〒787-0336 土佐清水市加久見 876 番地	2 人	714.1 m ²	10.0 m ²
宿毛営業所	〒788-0027 宿毛市港南台 2 丁目 9-16	2 人	789.2 m ²	30.0 m ²
合計		118 人	10,531.6 m ²	6,035.3 m ²

2. 対象範囲

2-1.対象範囲 ― 全社

土佐ガス株式会社	本社	高知県高知市葛島 2 丁目 3 番 75 号
土佐ガス株式会社	横浜ガスセンター	高知県高知市横浜 721
土佐ガス株式会社	佐川営業所	高知県高岡郡佐川町乙 1902 番地 6
土佐ガス株式会社	幡多支店	高知県四万十市古津賀1丁目 139 番地
土佐ガス株式会社	あいこ	高知県高知市朝倉西町 1 丁目 10 番地 16
土佐ガス株式会社	北萩町オートガスタンク	高知県高知市萩町 1-7-27
土佐ガス株式会社	窪川工場	高知県高岡郡四万十町榊山町 10-20
土佐ガス株式会社	清水工場	高知県土佐清水市加久見 876 番地
土佐ガス株式会社	宿毛営業所	高知県宿毛市港南台 2 丁目 9-16

対象事業:LP ガス事業、上下水道工事事業、電気設備工事事業、福祉用具貸与及び福祉用具販売事業、住宅改修事業

対象人員:118 人

2-2.レポートの対象期間

2018 年 7 月～2019 年 6 月

2-3.環境経営レポートの発行日

2019 年 11 月 20 日

2-4.作成責任者

環境管理責任者 久保雅寛

3.環境経営方針

当社は、やすらぎと感動のあるくらしの創造と提供を経営理念に掲げています。

環境問題への対応が叫ばれる中、当社はこれを重要な課題として認識し、

エネルギー供給事業者として事業活動全体における環境負荷の低減

及びエネルギーの効率的利用に取り組み、

安全で豊かな環境を次世代につなげ、環境経営の継続的改善を行います。

以下の行動指針を全社員に周知徹底し、一丸となって環境保全活動に取り組み環境負荷の軽減に努めます。

また、その環境経営レポートをインターネットを通じ公開します。

1. CO2排出量の削減

- ・環境配慮商品の普及に取り組みます。
- ・環境にやさしい車を使用し、燃費向上に努めます。
- ・エコドライブを実践し、燃料節減に努めます。
- ・オフィスでの節電に努めます。

2. 廃棄物の削減

- ・事業活動に伴い生じる廃棄物を削減し、分別を徹底すると共に再資源化を推進します。

3. 水使用量の削減

- ・オフィスでの節水に努めます。

4. 環境関連法規制の遵守

5. グリーン購入

- ・環境物品を選び購入するように努めます。

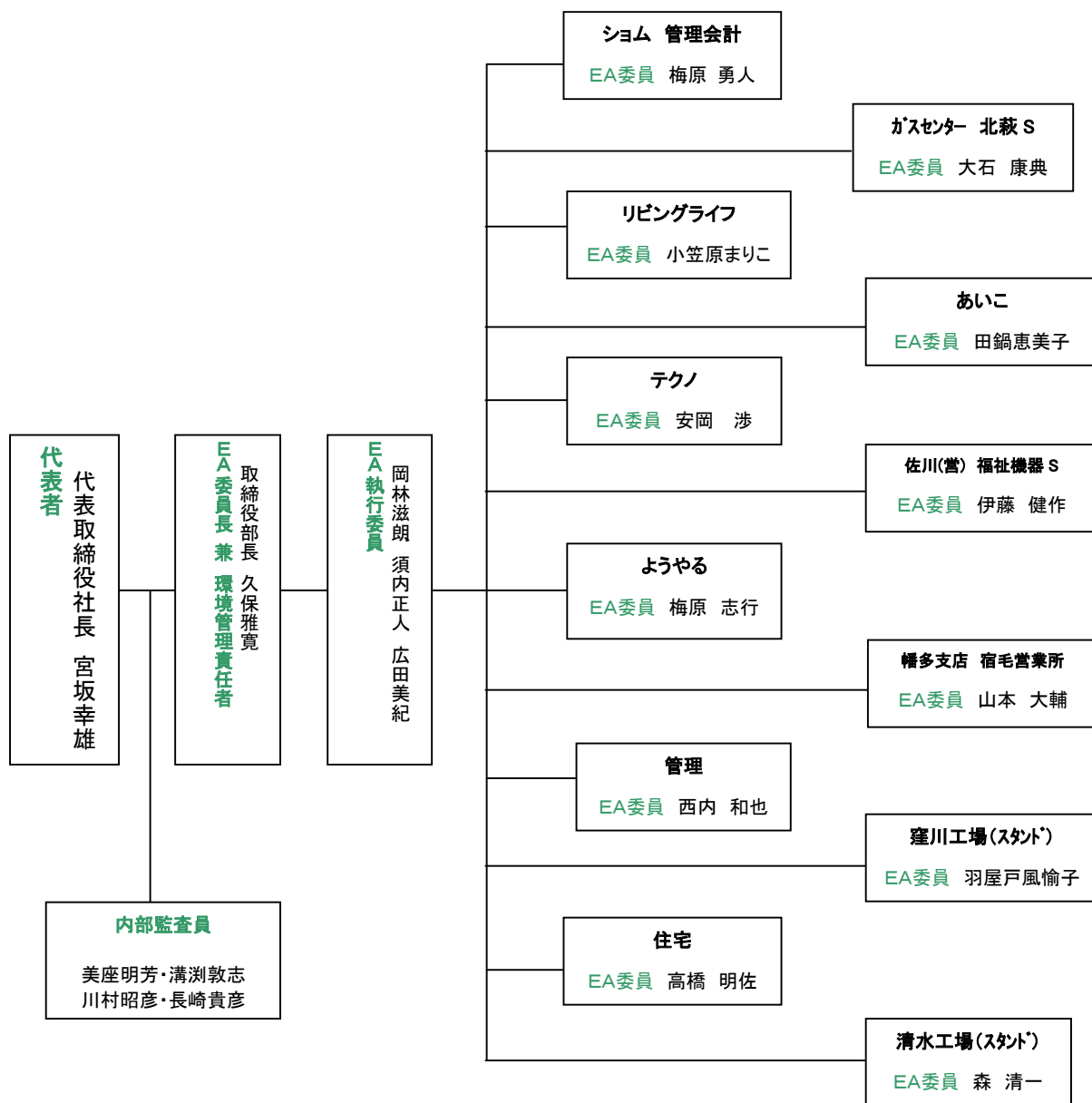
2019 年 5 月 1 日制定

土佐ガス株式会社

代表取締役

宮坂幸雄

4.環境管理組織体制



役職	責任及び権限
代表者	- 環境経営に関する統括責任 - 環境管理組織体制の承認 - 環境管理責任者の選任 - 環境経営方針の策定、見直し及び全社員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営レポートの承認
EA委員長 兼 環境管理責任者	- 環境経営システムの構築・実施・管理 - 環境管理組織体制の確認 - 環境経営目標・環境経営計画を確認 - 環境経営システムの評価と見直し及び代表者への報告 - 環境関連法規等とりまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境経営レポートの確認
EA執行委員	- 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック実施 - 環境経営目標・環境経営計画の策定及びとりまとめ - 各データの集計 - 環境経営レポートの作成と公開 - 外部コミュニケーションの窓口 - 環境関連法規等とりまとめ表の作成
EA委員	- 環境経営計画の実施及び実施状況の報告 - チーム内での周知及び教育と、環境経営システムの実施管理 - チーム内での問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を理解し、行動する

3ヶ月に一度(10月・1月・4月・7月)定例会を開催する。
支店、営業所は、年2回(11月・5月)定例会を開催する。

5.環境経営目標

目標は、平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月までの実績を把握し、これを基準として年度毎に 1%ずつ削減することを目指しています。また、グリーン購入量は年度毎に約 1%増加させることとし、環境配慮商品の設置割合は、平成 30 年度には、全体の 5 割超を目標とします。

5-1.単年度目標

項目		基準データ 2015.7～2016.6	2018 年度 目標 2018.7～2019.6
環境配慮商品の設置割合(%) ※1		42.9	51.9
購入電力(kWh)		287,860.0	279,310.3
化石燃料	LPG 使用量(kg)※2	237,248.1	230,201.6
	ガソリン使用量(リットル)	31,795.3	30,850.9
	軽油使用量(リットル)	3,596.9	3,490.0
	灯油使用量(リットル)	20.0	19.4
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※3		1,193,463.1	1,158,016.0
一般廃棄物排出量(t)		13.6	13.21
産業廃棄物排出量(t)		293.2	284.5
水使用量(m ³)		2,442.0	2,369.5
グリーン購入(%)		61.8	63.7

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※2 LPG 使用量は、事務所使用量と車輛使用量の合計。

※3 購入電力のCO₂排出係数は、2012 年 1 月 17 日公表の四国電力の実排出係数 0.326(kg-CO₂/kWh)を使用した。

5-2.中長期目標

項目		基準データ 2018.7～ 2019.6	2019 年度 2019.7～ 2020.6	2020 年度 2020.7～ 2021.6	2021 年度 2021.7～ 2022.6
環境配慮商品の設置 割合(%) ※1		60.5%	63.5%	66.5%	69.5%
購入電力(KWh)		270,538	266,480	264,550	264,120
化石燃料	LPG 使用量 (kg) ※2	219,774	217,298	216,414	216,414
	ガソリン使用 量(リットル)	23,058	22,730	22,590	22,590
	軽油使用量 (リットル)	2,074	2,070	2,070	2,070
	灯油使用量 (リットル)	20.0	20	20	20
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※3		1,166,079	1,153,050	1,141,965	1,141,965
一般廃棄物排出量(t)		11.6	11.1	10.9	10.8
産業廃棄物排出量(t)		386.2	374.0	366.1	368.1
水使用量(m ³)		2,472	2,325	2,273	2,271
グリーン購入(%) ※4		53.3%	54.0%	54.0%	54.0%

※1 基準データを 2018 年度に変更しました。

※2 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※3 LPG 使用量は、事務所使用量と車輛使用量の合計。

※4 購入電力のCO₂排出係数は、2018 年 12 月 27 日公表の四国電力の実排出係数 0.535(kg-CO₂/kWh)を使用した。

6.環境活動計画

CO₂排出量の削減、廃棄物の削減及び水使用量の削減等を目的として、次のような取組みを行ってまいります。

目標	具体的活動計画	担当者	期限
環境配慮商品の販売・工事、及びPR	床暖房によるウォームシェアの推進	大西・横山	2019.6.30
	ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)	大西・横山	2019.6.30
	高効率ガス給湯器	大西・横山	2019.6.30
	Si センサー内蔵型コンロ	大西・横山	2019.6.30
	太陽光発電	大西・横山	2019.6.30
	節水型トイレ商品	大西・横山	2019.6.30
	LED 照明商品	大西・横山	2019.6.30
CO ₂ 排出量の削減	LPG を継続して使用する	岡林	2019.6.30
	エコドライブの徹底	各チームEA委員	2019.6.30
	オイル交換の実施を徹底する	車輛を有する 担当責任者	2019.6.30
	照明器具は LED を使用する	各チームEA委員	2019.6.30
	使用していない電灯、電化製品を消す	各チームEA委員	2019.6.30
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	各チームEA委員	2019.6.30
	無理・無駄のない空調器の使用	各チームEA委員	2019.6.30
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	各チームEA委員	2019.6.30
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	各チームEA委員	2019.6.30
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	各チームEA委員	2019.6.30
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2019.6.30
	タブレット PC を有効に活用する	各チームEA委員	2019.6.30
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	管理会計チーム	2019.6.30
産業廃棄物削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2019.6.30
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	各チームEA委員	2019.6.30
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、かさ張るものは割って入れる	各チームEA委員	2019.6.30
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	各チームEA委員	2019.6.30

目標	具体的活動計画	担当者	期限
水使用量の削減	定期的な水漏れのチェック	各チームEA委員	2019.6.30
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	各チームEA委員	2019.6.30
環境関連法規制の順守	環境関連法規を改めて周知し、順守することを再確認する	各チームEA委員	2019.6.30
グリーン購入	OA 紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	管理会計チーム	2019.6.30

7.環境目標の実績

7-1.本年度の実績（平成 30 年度）

項目		基準データ 2015.7～2016.6	目標値 2018.7～2019.6	実績値 2018.7～2019.6	(実績値/目標値) ×100
環境配慮商品の 設置割合(%) ※1		42.9	51.9	60.5	+8.6 (116.7%) ※4
購入電力(kWh)		287,860.0	279,310.3	270,538.0	96.9%
化石燃料	LPG 使用量(kg) ※2	237,248.1	230,201.6	219,774.2	95.5%
	ガソリン使用量 (リットル)	31,795.3	30,850.9	23,058.3	74.7%
	軽油使用量(リットル)	3,596.9	3,490.0	2,074.0	59.4%
	灯油使用量(リットル)	20.0	19.4	20.0	103.1%
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※3		1,193,463.1	1,158,016.0	1,109,536.8	95.8%
一般廃棄物排出量(t)		13.6	13.21	11.57	87.6%
産業廃棄物排出量(t)		293.2	284.5	386.2	135.8%
水使用量(m ³)		2,442.0	2,369.5	2,472.0	104.3%
グリーン購入(%) ※4		61.8	63.7	53.3	-10.4 (83.7%) ※3

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等である。

※2 LPG 使用量は、事務所使用量と車輛使用量の合計です。

※3 購入電力のCO₂排出係数は、2012年1月17日公表の四国電力の実排出係数 0.326(kg-CO₂/kWh) を使用した。

※4 年間購入額(100)におけるエコ物品の購入割合の達成率。

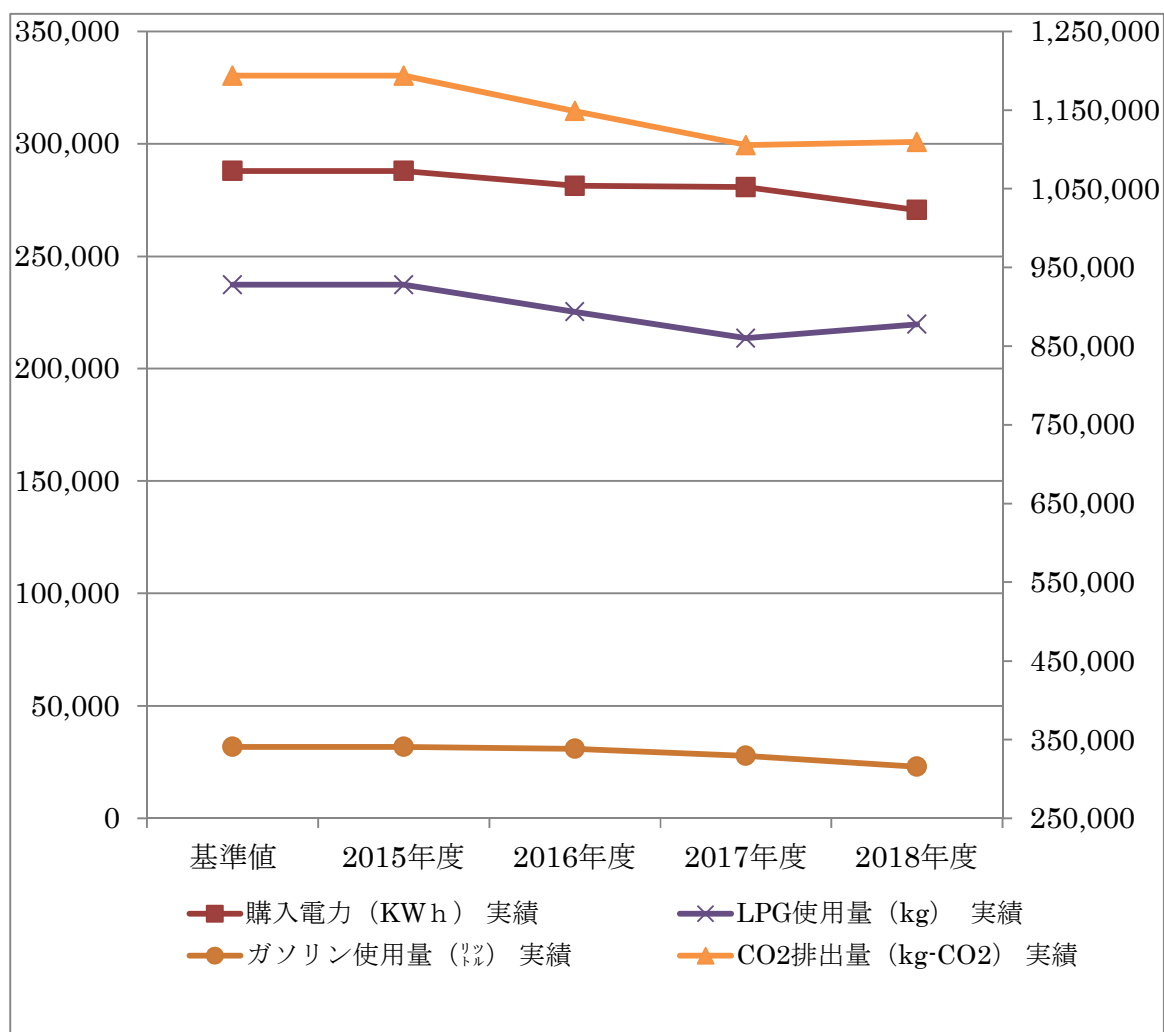
事業所全体でみると産業廃棄物排出量とグリーン購入を除き、昨年度並みか目標を達成することができました。産業廃棄物排出量については、関連会社の改装工事量の増加やaicoのレンタル商品の廃棄等による影響もあり未達となりました。グリーン購入については、現状はほぼ限界にきているため、今後は現状維持を目標として取り組んでいきます。また、当社で最も重要である環境配慮商品の設置割合についても、引き続き取り組んでいきます。

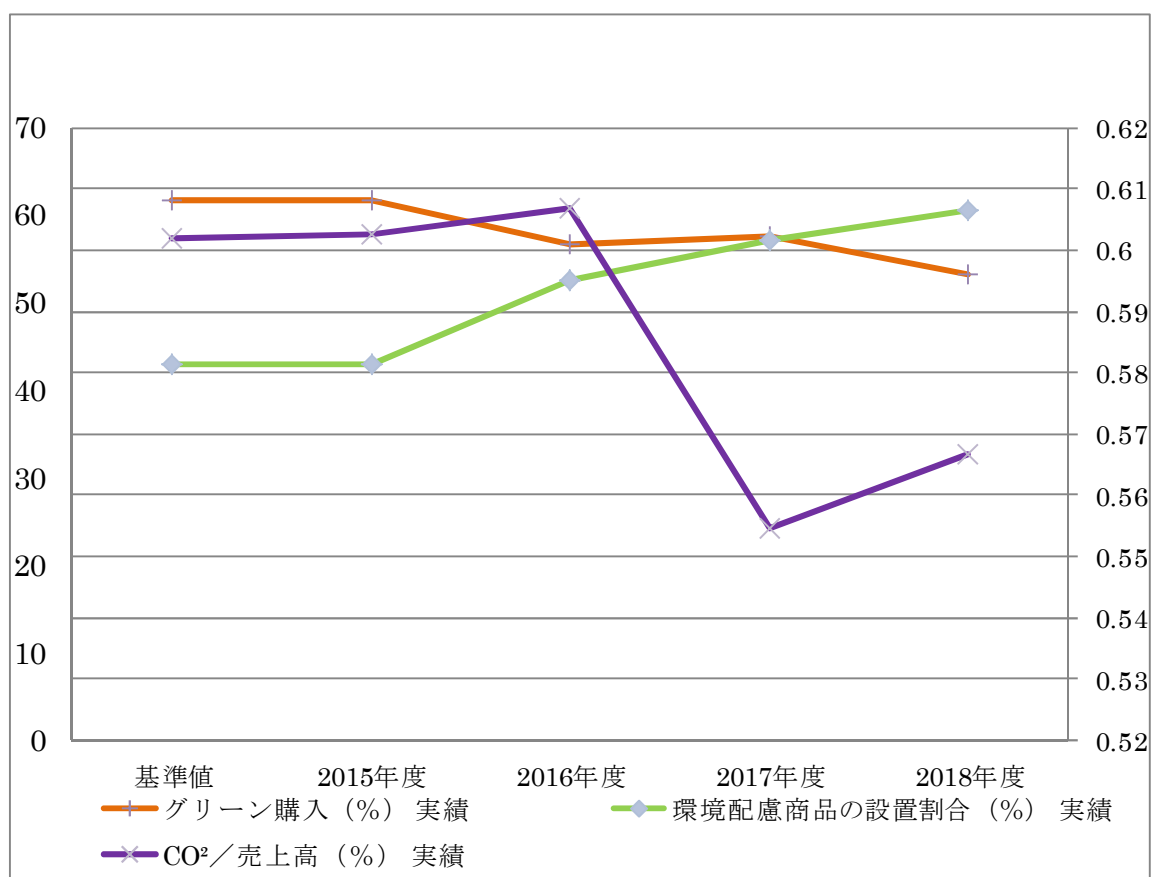
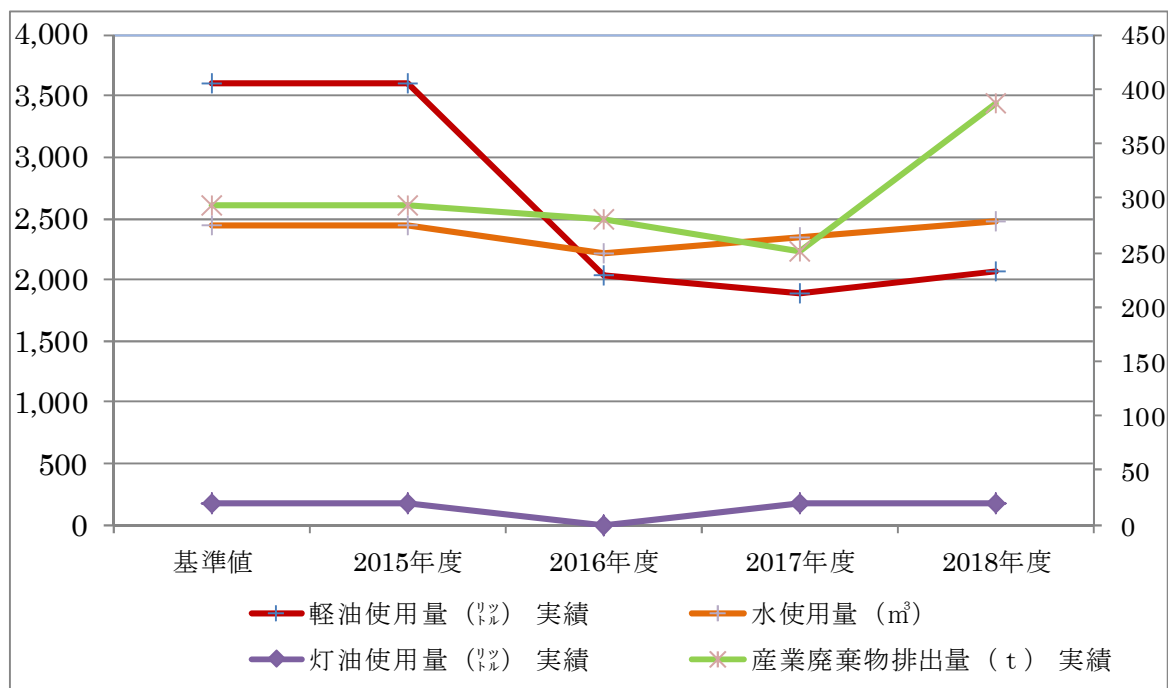
エコアクションを取り組み始めて10年目の節目となり、社員一人一人の意識もより高くなっていますが、マンネリ化してきている部分も見え隠れしている状況です。ここ数年、若い社員も増えてきていますので、若い力・知恵も借りながら、マンネリ化を防ぐ施策を強化し、さらなるエコに対する意識の向上と活動を継続していきます。

令和1年度は、本社改装後の各実績数値が1年以上記録できたため、各事業所も含め、全体的に基準データを見直し、目標値についてもここ数年の実績値を参考に設定し直し取り組んでいきます。

7-2.過去の実績

項目		2015 年度 基準値 2015.7～2016.6	2016 年度 実績値 2016.7～2017.6	2017 年度 実績値 2017.7～2018.6	2018 年度 実績値 2018.7～2019.6
環境配慮商品の設置割合 (%)		42.9	52.6	57.2	60.5
購入電力 (kWh)		287,860	281,297	280,710.0	270,538
化石燃料	LPG 使用量 (kg)	237,248	225,294	213,562.5	219,774
	ガソリン使用量 (リットル)	31,795	31,005	27,844.6	23,058
	軽油使用量 (リットル)	3,597	2,028	1,894.6	2,074
	灯油使用量 (リットル)	20	0	20	20
CO2 排出量 (kg-CO ₂)		1,193,463	1,148,652	1,105,605.9	1,109,537
一般廃棄物排出量 (t)		13.6	11.3	10.09	11.6
産業廃棄物排出量 (t)		293.2	279.6	250.8	386.2
水使用量 (m ³)		2,442	2,217	2,347.0	2,472
グリーン購入 (%)		61.8	56.7	57.7	53.3
売上高 (百万円)		1981.0	1892.9	1993.8	1957.6
t-CO ₂ /売上高 (百万円)		0.602	0.607	0.555	0.567





8.環境活動計画の取組結果とその評価 (2018 年 7 月～2019 年 6 月)

目標	具体的活動計画	取り組み結果	評価	見直し
環境配慮 商品の販 売・工事、 及び PR	床暖房によるウォームシェアの推進	できている	○	推進を継続
	ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)	できている	○	推進を継続
	高効率ガス給湯器	できている	○	推進を継続
	Si センサー内蔵型コンロ	できている	○	推進を継続
	太陽光発電	できている	○	推進を継続
	節水型トイレ商品	できている	○	推進を継続
	LED 照明商品	できている	○	推進を継続
CO ₂ 排出量 の削減	LPG を継続して使用する	できている ハイブリッド車(LP Gとガソリン)の推進	○	現状を継続
	エコドライブの徹底	ほぼできているが、少し個人差 がある	○	意識付け継続
	オイル交換の実施を徹底する	できている	○	現状を継続
	照明器具は LED を使用する	できている	○	現状を継続
	使用していない電灯、電化製品を消す	できている	○	現状を継続
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	できている	○	現状を継続
	無理・無駄のない空調器の使用	できている	○	現状を継続
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エア コンの使用を抑える	できている	○	現状を継続
	ネット上のコミュニケーションツールを活 用してコミュニケーションを図り、効率化 を進める	利用できる部署は利用してい る	○	現状を継続
一般廃棄 物削減	ペーパーレスの推奨	できている DWの活用	○	現状を継続
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	できている	○	現状を継続
	タブレット PC を有効に活用する	利用できる個人は利用してい る	○	現状を継続
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	できている	○	現状を継続
産業廃棄 物削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	できている	○	現状を継続
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	できている	○	現状を継続
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場 合、かさ張るものは割って入れる	できている	○	現状を継続
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確 認チェックの実施	できている	○	現状を継続

目標	具体的活動計画	取り組み結果	評価	見直し
水使用量の削減	定期的な水漏れのチェック	できている	○	現状を継続
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	できている	○	現状を継続
環境関連法規制の順守	環境関連法規を改めて周知し、順守することを再確認する	できている	○	現状を継続
グリーン購入	OA 紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	取り組んでいるが目標に達せず	×	取組み改善

9.次年度の環境経営計画の取組内容

目標	具体的活動計画	担当者	期限
環境配慮商品の販売・工事、及びPR	床暖房によるウォームシェアの推進	大西・横山	2020年6月30日
	ガスコジェネレーション(エネファーム)	大西・横山	2020年6月30日
	高効率ガス給湯器、ハイブリッド給湯器	大西・横山	2020年6月30日
	Si センサー内蔵型コンロ	大西・横山	2020年6月30日
	太陽光発電、V2H、蓄電池	大西・横山	2020年6月30日
	節水型トイレ商品	大西・横山	2020年6月30日
	LED 照明商品	大西・横山	2020年6月30日
CO2 排出量の削減	LPG を継続して使用する	岡林	2020年6月30日
	エコドライブの徹底	各チームEA委員	2020年6月30日
	オイル交換の実施を徹底する	車両を有する担当責任者	2020年6月30日
	照明器具は LED を使用する	各チームEA委員	2020年6月30日
	使用していない電灯、電化製品を消す	各チームEA委員	2020年6月30日
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	各チームEA委員	2020年6月30日
	無理・無駄のない空調器の使用	各チームEA委員	2020年6月30日
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	各チームEA委員	2020年6月30日
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	各チームEA委員	2020年6月30日
	作業時の養生及び作業後の清掃	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2020年6月30日
	車両・倉庫の整理整頓 (車両への不要な道具、工具は積載しない)	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2020年6月30日
	騒音対策	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2020年6月30日
	緩衝材処分方法の徹底 → 空気を抜いて小さくたたんで処分	aico	2020年6月30日

目標	具体的活動計画	担当者	期限
CO2 排出量の削減	LINEや他アプリを活用した情報共有 →作業効率アップ、紙の使用を削減	住宅チーム	2020 年 6 月 30 日
	事業所内の見回り活動の実施	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	タブレット PC を有効に活用する	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	管理会計チーム	2020 年 6 月 30 日
	PC 及び周辺機器の処分先の選定	情報システムグループ	2020 年 6 月 30 日
	大きいビニールの有効活用	aico	2020 年 6 月 30 日
産業廃棄物削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、 かさ張るものは割って入れる	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	材料の選定と無駄の無い使用	テクノチーム、ようやるチーム、 幡多支店、aico、佐川営業所	2020 年 6 月 30 日
	廃棄物分別の掲示	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
水使用量の削減	定期的な水漏れのチェック	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
	手洗い時、洗い物においては、日常的に 節水を励行する	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日
グリーン購入	OA 紙・文具等について、可能な限り環境 物品を選び、購入する	管理会計チーム	2020 年 6 月 30 日
環境関連法規 制の順守	環境関連法規を改めて周知し、順守する ことを再確認する	各チームEA委員	2020 年 6 月 30 日

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況	確認日
高圧ガス保安法	第26条、第27条	危害予防規程の策定及び遵守、保安教育計画の策定及び実施、保安検査の実施、定期自主検査の実施	日々	横浜ガスセンター 窪川工場 清水工場	遵守	2019. 6.30
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律	第18条、第27条、第37条6	保安教育の実施、一般消費者等に対して保安業務の実施、保安検査の実施	日々	ようやるチーム 佐川営業所 幡多支店	遵守	2019. 6.30
ガス事業法	第30条	保安規程の遵守	日々	ようやるチーム 佐川営業所 幡多支店	遵守	2019. 6.30
消防法	第17条3の3	消防用設備の点検	1年	横浜ガスセンター ショムチーム	遵守	2019. 6.30
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条、第12条の3、第12条の3第7項	マニフェストの管理、契約書の締結、マニフェスト交付状況報告、保管場所の表示	毎年6月末	ショムチーム	遵守	2019. 6.30
地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	温室効果ガスの排出の抑制	1ヶ月	各チーム	遵守	2019. 6.30
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	物品等の購入に際して、環境物品等を選択	1ヶ月	発注者及びショムチーム、管理会計チーム	遵守	2019. 6.30
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	第8条、第73条	使用済自動車の適正な引渡し、リサイクル料金の支払等	社有車の車検時及び廃車時	ショムチーム	遵守	2019. 6.30
浄化槽法	第10条 第11条	浄化槽の適正管理 指定検査機関の行う水質に関する検査の実施	1年	ショムチーム	遵守	2019. 6.30
建築基準法	第6条	工事基準の遵守 各種申請手続きの適正処理	日々	あいこ アクアチーム	遵守	2019. 6.30
建設業法	第3条	建設業の許可と更新	許可と5年ごとの更新	ショムチーム	遵守	2019. 6.30

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況	確認日
家電リサイクル法	第9条 第10条	特定家庭用機器の適正処分	指定業者に処分依頼	あいこ	遵守	2019. 6.30
高知県環境基本条例	第6条	事業活動を行う事により発生する公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するため、廃棄物を適正に処理するなどの必要な措置を講ずる	日々	各チーム	遵守	2019. 6.30
高知市環境基本条例	第5条	廃棄物を適正に処理するなど、事業活動に伴う環境への負荷の低減に努める	日々	本社、あいこ 横浜ガスセンター 北萩町オートガススタンド	遵守	2019. 6.30
四万十市環境基本条例	第5条	環境への負荷の低減その他環境の保全に自ら努め、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する	日々	幡多支店	遵守	2019. 6.30
四万十川条例	第7条	流域内において行う事業活動に関し、四万十川の保全及び流域の振興に自ら努めるとともに、県又は流域市町が実施する四万十川の保全及び流域の振興に関する方策に協力	日々	幡多支店	遵守	2019. 6.30
宿毛市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	第4条	廃棄物を自らの責任において適正に処理する	日々	宿毛営業所	遵守	2019. 6.30
四万十町環境基本条例	第5条	廃棄物等の処理その他の公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講じる。	日々	窪川工場	遵守	2019. 6.30

環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2018年7月より2019年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。かつ過去3年間ありません。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果

実施日：平成 30年 11 月 15 日

■定期見直し（事業年度終了後）
□臨時見直し

代表者サイン

宮坂幸雄

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規等の遵守状況 平成29年度終了後に定期評価を実施した結果、環境関連法規等は遵守されている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 是正措置及び予防処置となるものはありません。				[環境経営方針] 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
[目標・環境活動計画の達成状況] （詳細は環境活動計画書による）				[目標・活動計画] 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント （目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント）	[その他]	
購入電力の削減	○	○	全事業所の達成を目指す	変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
LPG使用量の削減	○	○	エコドライブの継続的推進		
ガソリン使用量の削減	○	○	エコドライブの継続的推進		
軽油使用量の削減	○	○	台数減少		
灯油使用量の削減	△	○	消毒設備の稼働率が増加	[総括]（環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）	
CO2の削減	○	○	一部の事業所を除き排出量が減少	事業所全体でみるとグリーン購入を除き目標を達成しているが、事業所単位での達成がより望ましく、エコアクションを仕組み始めて9年目、エコに取組む更なる意識の向上と活動の継続を促していく。ここ数年、目標を達成できていないグリーン購入（エコ商品の購入）については、エコ商品ではあるが使い勝手が悪いものなどを無理に購入する必要は無いが、使い勝手や見栄え等にあまり差のないのであればエコ商品を購入するよう今後も進め、目標値のクリアを目指す。 今年度下期に、本社2階の改装工事と全階主要部の電灯のLED化の工事を実施した。来年度はその効果が表れると思われる。また、LPG&ガソリンの改造車の台数も増加させる予定で、この点も含め更なるエコへの取組みを強化する。 環境経営システムは正常に機能しており、今後もこのサイクルを活かした取組みの改善を行い、目標値の達成を目指し環境活動を続けていく。	
廃棄物の削減	○	○	あいこの住宅改修工事が減少		
総排水量の削減	○	○	節水等の継続的取組み 主要事業所が達成		
グリーン購入の推進	×	△	新たなエコ商品を見い出せず		
環境配慮商品の設置割合	○	○	順調に推移している		
<改善への提案> 本社のLED化工事が終了し、来年度は効果の検証を行う。 グリーン購入が未達のため、今後も購入時に見直しを継続して行う。 環境配慮商品の普及をさらに強化し取組む。					
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より 平成29年度において、環境に関する苦情はなかった。 ②環境関連法規制等の動向他 特になし。今後も法規を遵守し適正に処理していく。					